

最近の国民保護に関する情勢について (国際テロ情勢と日本の治安)

◇ 現代の国際テロ情勢

- ・現在は 1990 年代から続くテロの「第 3 の波」。特徴は大半が宗教的過激主義。
(その他、左翼・右翼主義者、環境・動物保護や原発反対、中絶反対の権利を掲げて暴力破壊行為を繰り返すテロも)
- ・「イスラム国」は約 600 万人を支配下に行政機構を有す。単なるテロ組織ではない。
(世界各国から 3 万人を超える戦闘員や職業人が流入。世界で 29 組織が忠誠を誓う)

◇ 日本にとっての脅威・日本の経験

- ・イスラム国は、日本を十字軍の一員として敵視することを明言。
- ・捕鯨もイルカ漁も日本人が思う以上に国際問題。
- ・国内でのテロ。
 - ＞ホームグロウンテロは欧米主要国とは環境・状況が異なる
 - ＞一方で、爆弾テロ・爆発物事案が絶えない(2000 年以降、爆発物製造や使用で 50 件以上の摘発が)
 - ＞その他、客船やジャンボ・ジェット機の乗っ取りも

◇ テロに備える

- ・東京オリンピックを控え、海外での紛争・対立が国内に持ち込まれる想定が必要。
- ・危険物となり得る物が身近に存在し、テロ未満事案が多く発生。
(C B R (化学・生物・放射性物質)、3 D プリンタでの武器製造、ドローンなど)
- ・ソフトターゲットの再考
 - ＞走行中の新幹線での焼身自殺⇒危険物・爆発物の持ち込みを防ぐことは困難
 - ＞スタジアムやコンサートは入場時のチェック。ただし、イベントが進行すると入場警備が弱くなる。(紛れ込みやすくなる)
 - ＞レストランやカフェでの銃乱射は防ぐのは不可能
- ・国際テロは当分続く。「第 3 の波」はまだまだひかない。様々なケースを想定してテロに備えなければならない